



<フィリピン・リサーチ・レポート>

情報提供用資料

2023年1月20日

フィリピンの2022年11月の貿易収支

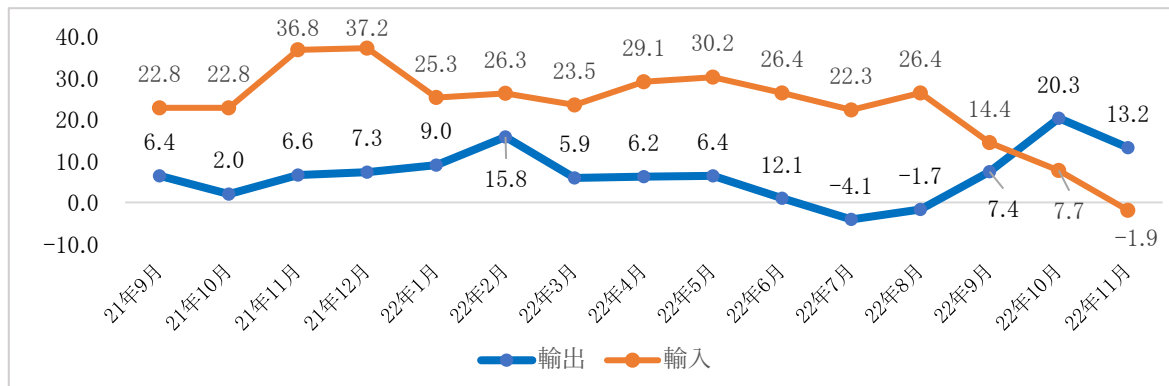
フィリピン統計庁(PSA)が発表した貿易収支統計(速報値)において、11月の輸出額は前年同月比+13.2%の71億米ドルと堅調だった。多くの国でコロナ制限が解除された後、サプライチェーンの問題が緩和したためだと考えられる。品目別で金額が最大だったのは電子製品で、前年同月比+22.9%増の45.7億米ドルと、総輸出額の64.3%を占めた。2位はその他製造品(同+4.8%の3.4億米ドル)、3位はその他鉱物製品(同+51.0%の2.4億米ドル)であった。

一方、輸入額は前年同月比1.9%減の108億米ドル。品目別で最大だったのはやはり電子製品で、同-10.1%の26.4億米ドル。鉱物燃料(同+7.9%増の16.7億米ドル)と輸送用機器(同-8.8%の8.3億米ドル)がそれに続く。輸出増と輸入減により、11月の貿易赤字は36.8億米ドルへと、8月の60.2億米ドルや前年同月の47.1億米ドルから縮小した。

11月の相手先別輸出額の首位は香港で11.6億米ドル(同+39.1%)、輸入額の首位は中国で26.0億米ドル(同+13.9%)。

1~11月の累計では、輸出額が前年同期比+7.0%の731.7億米ドル、輸入額が同+20.3%の1,268.6億米ドルで、貿易収支は536.9億米ドルの赤字となった。

輸出入伸び率(対前年同月比;%)



出所:フィリピン統計局(GSO)、ブルームバーグ

<http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。